

25日(土)「スローフードの原点とは？」

1 p.m. ~

ジャコモ・モヨリ 国際スローフード協会・日本担当理事



通訳 石田雅芳
同志社大学卒
国際スローフード協会
事務局勤務

Giacomo Mojoli

スローフード・ジャパン名誉会長／1955年生まれ。元国際スローフード協会副会長。現在は日本担当理事。ミラノ大学哲学科卒業後、数年間にわたりコミュニケーション、マーケティング、広告言語の分野で教鞭をとる。その後、食、ワイン評論家として活動。『Italian Wine』、『Wines of the World』などの著書がある。ガンベロロッソ社とスローフード協会が共同で出版するVini d'Italia (『イタリアのワイン』)では最終選考委員の一人を務めている。近年はスローフード協会のイタリア国内外の公式スポークスマンとして、国際的関係に取り組む。またイタリア内外の20の都市が参加するスローシティ・ムーブメントにおける公式代理人、さらには、「生物多様性を守るためのスローフード基金」のメンバーとしても、イベントの立案、運営などに当たっている。また、ガストロノミー、ワインの専門家として、RAI (イタリア国立放送)を始めとするテレビ、ラジオの番組制作にも関わっている。

同志社大学食育祭2006 農が守る食、食が守る命

開会挨拶 新川達郎 (同志社大学大学院総合政策科学研究科長)



今回しか聴けない、豪華トーク!

午後1時過ぎより、第一展示場で



1940年、新聞記者の長男として東京に生まれる。1972年放映の「木枯し紋次郎」が空前のブームになり、その後数多くのドラマで主演をつとめる。脚本や演出でも活動。海外取材を基に書いた小説『チェンマイの首』がベストセラーとなり、その後の二作を含め東南アジア三部作は、国際小説ブームの火付け役に。1984年には、日本最初の本格的なTV情報番組「地球発22時」のキャスターに起用され、TV界の流れを大きく変える。数十ヶ国の海外取材での経験から、国際的視点からの政治的発言が多くなり、政界入りの強い要請を受け、1998年、参議院東京選挙区から立候補して当選。2000年には「さきがけ」代表に就任。2002年には党名を「みどりの会議」に変え、日本最初の環境政党を作ろうと全国の組織化に奔走。国会では、90名の国会議員が参加する議員連盟「公共事業チェック・議員の会」の会長として、また環境委員、農水委員として、不正腐敗の追及や環境問題、農林水産業の復権などに精力的に取り組んだ。2004年、環境政党を拡大するため、持てるものすべてを投入、10人の候補者を擁立して参議院比例代表で闘いましたが敗退。一期一会と覚悟を決めた闘いの故に政界引退を表明。中村敦夫の世界観や政治、経済についての思想は、著書『さらば、欲望の国』(近代文芸社新書)を参照されたい。現在は俳優業に復帰し、著述、講演を続けながら、念願の仏教研究に励んでいる。

26日(日)「いまこそ Slow, Small, Simple」

1 p.m. ~

中村敦夫 元参議院議員・俳優・作家・脚本家